夕刊 常磐毎日新聞
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 吉田 甫

鹿島合併與論真二つ
推進委員會乘り出す

地方自治の確立から隣町村合併問題が三年越しに叫ばれている鹿島村合併問題は、石炭と溫泉の湯本町、漁港の小名浜町とから合併申入れを受け、鹿島村当局は婦二人に心決まらず「鹿島村合併促進協議会」などを結成して慎重審議し村としての進むべき道を一日も早く決定しなければと村民各位がこの問題解決に考慮、現在村の輿論としては十二字が二分された現状をかもし出し、県当局としても地方自治確立の上から何らかの円満解決の手をのべるのではないかみられているが、これに先立ち、石城合併推進委員会では近く実情調査に乗り出すこととなつた

上郷は湯本支持
下郷は小名浜合併を希望

合併態度決定問題をそ上にした鹿島村民の反論は上郷六字（米田、三沢、走熊、松久須根、下矢田、上矢田）が湯本町合併を支持し、下郷六字（飯田、御代、船戸、久保、上蔵持、下蔵持）は小名浜町との合併を希望しているので、村が真二つに分割された現状で自治確立の意味から村を分割してまで合併云々は自治体を破壊するものではないかとみられ、村民の意志がどちらに一本化されるかが今後の問題として残されている

村会は九対四

また一方村民の代表である議会議員の分野を打診してみると

村民から選出されている村議は上郷六字から九名、下郷六字七名となつているが、下郷方部から選出されている村議三名は湯本、小名浜との合併可否問題になれば二名は病気で出席不可能一名は議長となつているので現状の場合だと九対四で湯本町合併が濃厚とみられているので小名浜町としては歩が悪るく県当局に泣き入れしたとうわさされており、県当局としても円満な合併促進を希望しており推進委員会の動きが注目されている

鹿島有志ら 常磐を訪問

鹿島村大字走熊部落有志九名は二十日午前十時ごろ常磐炭礦磐城鉱業所を訪れ、同炭礦首脳部と面会自治確立の合併問題について将来常磐炭礦が鹿島地帯に移動されることの条件、計画などを具に聴集し

逸早く村民としての進むべき道を見極めるための訪問とみられ注視されている

抽選会は二十日午後五時半から同会事務所で市役所、新聞社立会で行つた結果当選番号（下三けたの数）は次の通り決まつた

当選者は廿五日午前五時半平駅前からロマンスカーで出発し帰平は東山に一泊して翌廿六日午後六時頃の予定当選者は五十名の予定だつたが今回は特にサービスして六十名にした当選者は廿四日まで専門店会加入の各店に申出て下さい〇二〇、二二二、三六一、四一九、七八七　九六四

パリーロンドン 当選者判明

倒去る四月行われた「パリーロンドン招待」大売出し当選者は下記の通り判明した

▼岡林文雄（北海道、会社員）▼小林喜勇治（秋田、営林署庶務課長）▼八木金次郎（福井、会社員）▼栗飯原丈夫（磐田、学生）▼大賀道子（四日市）▼平川実（京都）▼日比松翁（岡山、しも猿御商）

宮青年学級

内郷町宮青年学級は二十四日午後六時半から宮小校で開く、講師は市公会堂で開く当日は日大辯論

日大弁論会
廿二公会堂で

日大三島教授辯論部主催の日大辯論大会は二十二日午後六時から平

湯本区議会

湯本町区議会は二十七日午後一時から役場会議室に開き、吹矢地内に百五十万円で建設される公衆浴場（三七、五坪）の件、区有山林伐採の件、岩際旅館の引湯施設について協賛する

湯本町で 公民館を語る会

湯本町公民館主催の「公民館を語る会」は二十五日午後七時から同館で開き、公民館の民主的なあり方と運営について討論する、参集者は町議、区議、町内各種文化団体代表など五十名となつている

敵艦来襲

或日、アンボン湾沖数マイルの地点に敵巡洋艦数隻よりなる艦隊が来襲総員戦闘配置につき息づまる様な緊張のうちに物々しい警戒の陣がはられマツカサルの海軍航空隊より、海軍機が数十機（このころ日本には飛行機があつたのですぞ）飛来、数十マイル四方をくまなく索敵したのだが敵艦は愚か小舟一隻も発見出来ず、大問題となつたのだが、一人二人の目撃者でないのだから未だにナゾとされているたぶんしん気楼だつたのだろうとされている

豪州作戦

住めば都であまり人情のよく

磐梯遊覧当選者
平専門店会大売出し懸賞

平専門店会主催の加入店大売出し慕磐梯遊覧東山温泉一泊御招待の

ないアンボンも住民との間に顔なじみが出来たりすると、仲々捨てたものでもなかつたが幸か不幸か昭和十八年初頭こゝを本拠として豪洲連合で豪洲上陸作戦（勿論失敗したが）をやると云うので「剣」「司」「武」「一

はタイピスト、看護婦等を含め

の辞令が海水軍大以下名をつらね『鬼怒型艦を命ず』とあつた

バリ島

当時衆議院議員諸公が南方慰問にゆく時何処にゆきたいかと云つたら皆バリ島と云つたとか聞くならずとも凡そ南方に憧れた者は皆バリ島に行きたがつた天下の名優チャツプリンが世界の極楽と嘆じ、『美女と野獣』の名監督ジョンコクトが最期ロケをやつているとか、こと程さ様らにバリ島とはよい処なのである。まづ世界地図をひろげてもらいたい、スマトラ、ジヤワを含めて、大スンダ列島と称しバリ島から東へ点々と連なる島々を小スンダ列島と称し、将

セ参四、セ四式部隊始末記
（附私の渉外日記）（中）

「鯉」の各部隊が集結、事実上めて十七人程の女が居たが皇族はさて置き、女乗せない戦さ艦にこれ等婦人が乗り込みアンボンから、バリ島まで三日の行程を艦上に起居したのだから、全く海軍省始まつて以来の大サービスだつた。えない、その時

にオランタの金庫箱であつたのである、石油も石炭も、何等入間に価値をもたらさなかつた時こゝは一名香料群島と称し高価な香料を産出して、オランタの富強の因を作り近代に至つてはスマトラ、ボルネオの石油ジヤワのコプラ、コーヒー砂糖米、バリ島のコーヒー肉、バリ島の牛肉に至つては世界でも有名で四国に足らないこの小島より産出する肉だけで、連合艦隊全部の食肉をまかなつて余りがあるのである

（続）

元現地陸海連合
渉外部長
長谷川 浩

父三郎儀

去る四日現場に於て負傷し竹林病院に於て入院治療中の処突然本日午前九時三十分死去いたしました

茲に生前の御厚誼を拝謝し謹んで御通知申します

追つて葬儀は二十二日午後一時自宅出棺菩提院に埋葬致します

昭和二十八年七月二十日

平市三丁目五七
嗣子 斎藤修一
妻 ハギ

寿司は花長

部員二十二名も来平、もはん辯論を行うことになつているので多数の出席者を望んでいる

戦没者遺骨伝達式

は二十九日午後一時から石城地方事務所会議室で開く、遺骨は五柱で戦没者の名前の判つているのは江名町の佐藤徳雄氏、安島春展、小名浜町の村赤幸男氏（南西諸島）でこのほか内郷、赤井に各一名（名不詳）

呉服 百年の歴史 武者印 歌舞伎や ゆかた 地服
佐川呉服店 五丁目 電1486

うな井 蒲焼は 前もつて注文下されば 出前迅速
江戸川支店 平市紅小路 電一四五六 一〇二二

★市内目抜通りに理想的なビルが出来ます★
貸事ム所店舗向!! 常磐ビル（仮称）建設事ム所 平市柏屋町十一（電話三五〇）（委細面談）

七月二十五日の 丑の日は……
夏の味覚と栄養の王 味郷の蒲焼
うな井 蒲焼さかえ食堂 平駅前 電九八八

盛夏中特別奉仕
うな井 蒲焼 マルトモ食堂 電話五七〇番
★出前迅速★

東山温泉一泊 裏磐梯周遊一様大売出し
◆当せん發表◆

下三ケタ	〇二一	四一九
	二二二	七八七
	三六一	九六四

御当せんの御客様は24日正午までに当事務所又は各専門店会員の店まで御申込下さい

平専門店會 平市二丁目 TEL1088

★出前迅速★
うな井 蒲焼 さかえ食堂 平駅前 電九八八

「ひめゆりの塔」の悲しさ、「きけわだつみの声」の悲愁、そして「真空地帯」の迫力を併せもつて八千万国民に贈る感動感涙の名篇!!

神風特攻隊の記録
雲なびく果てに

監督 家城巳代治
松竹・北星 共同配給

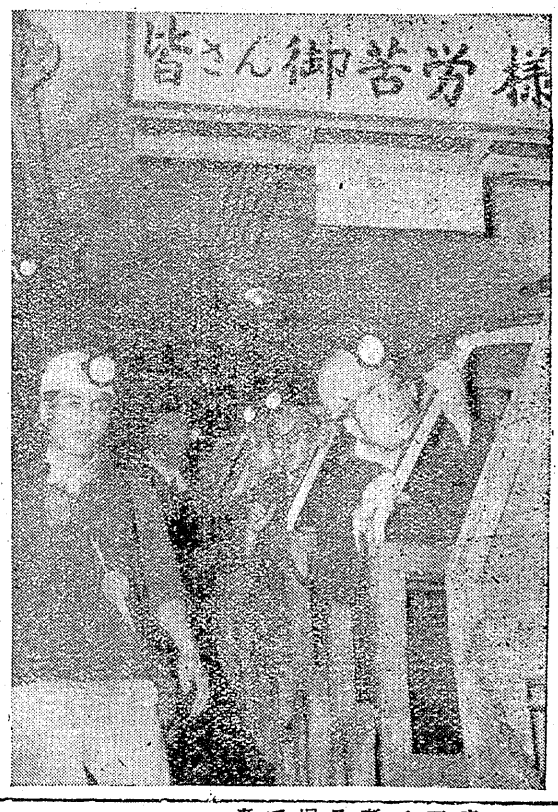
大菩薩峠 第三部 巻の神の巻 竜神の山

鶴田浩二・木村功
山田五十鈴 利根はる恵 山岡比佐乃 岡田英次

（今週に限り従来発行の普通招待券ご使用遠慮願います）

22日〜28日 連々公開 劇民

参院労働委員 一行來郡
"スト規制法"の炭礦調査



スト規制法調査のため來郡した参議院労働委員梶原茂嘉（緑）、井上清一（自）両代議士ら一行十数名は二十一日午前九時ころ常磐炭礦磐城鉱業所を訪れ、越智副所長、木村東京鉱山保安監督平支部長らと面会、木村支部長から常磐炭田管内の保安状況（災害が減少している点を強調）、越智副所長から常磐炭礦の概況

スト中の保安要員についてのカツベ採炭、排水、通気、ガス、爆気、抗道保坑などの説明をうけ、これに対し視察団から従業員の何名が保安要員でどんな仕るか、何日おけば採掘した石炭が坑内で自然発火するかなどの質問があり

結論として鉱山保安法に対するみだらな行為は違法であり、スト中はカツベ採炭は仕事しなければならないし、この闘争は立法化しなければならないのではないかとみられ、午前十時二十分ごろ一応説明会を打切り、木村支部長の案内で常磐磐崎鉱に入坑

北部、西部斜坑の排水ベツク、カツベ採炭、通気坑などを視察して午後四時四十三分平発列車で帰京した

十二名検挙さる
労組平地区斗争委員長ら

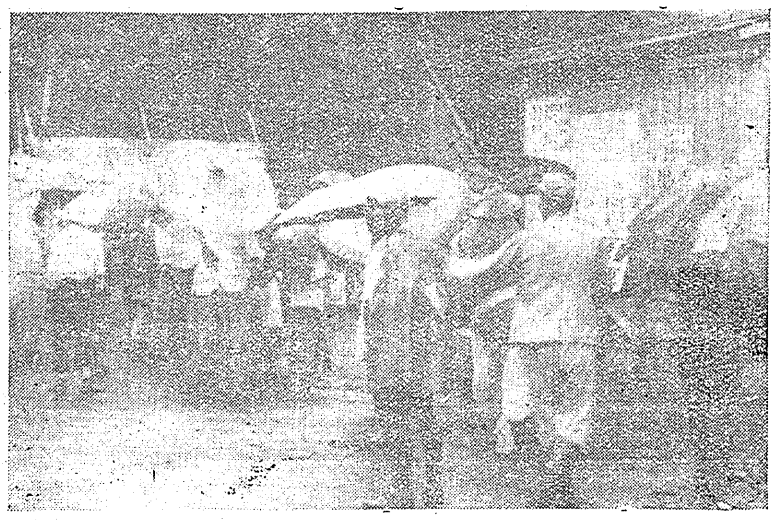
シ烈を極める自由労務者の夏期手当攻勢は遂に検束騒ぎに迄進展を追うて注視されるに到つた、市役所玄関前座り込みを解かれた平自由労務者らは、この仕打ちを不服として

廿日午後八時頃から労組平地区闘争委員長野島畑明(三)ほか十二名が市役所前の平戦災復興事務所現場監督詰所の戸をこじ開け入り込み、気勢をあげはじめたので平市署では、午後八時半戦災復興事務所の要請にもとずき、伊藤次席以下三十名の武装警官を出動させ野島は木茨住居侵入容疑で逮捕、ほか十二名で囲へ十分間交渉を行つたが容疑で検挙取調べた野島ら

ラチあかず

同所では交渉折切りで退場を言い渡したが退場せず、平市署の武装警官が出動したところ「何しに来た」「馬鹿野郎」との暴言を吐いて喰つてかかつてきた

大郷勤務者も座込み
役場裏にムシロ小屋かけ



（既報）一人三千円の夏季手当要求ほか六項目の陳情書を書徹せんものと内郷町自由労組では十八日から同町役場裏口脇に板バリのムシロがけ小屋を作り約十名の組合員が交代で座り込み戦術に入つた同日午前九時から沼田町長と面会したがラチがあかず、二十日は雨を衝いて小屋前に約三百名が集まつたが、中には平事件参加者も加つており、今後の交渉が注目されている（写真は雨の中の座込み）

夫や情婦と家出
残された妻から捜査願

赤井村大字赤井字深田二六ノ一大工鮎川孝さんの妻ハルさん(三三)は二十日平地区署をおとずれ夫鮎川孝さん(三三)が去る七日午後八時ごろ恋仲にあつた同村大字赤井字大根内無職三浦友子さん(三五)と二人で書置を残し家出、自殺のおそれがあるから捜査して下さいと願出たハルさんの話によれば三浦さんは昨年の夏ごろから夫孝の胸部疾患に同情していつか恋愛に変り、最近夫は病弱を苦にしていたから同情して家出したものとみられ、三浦さんも家には帰りたくないと語つていた点から、自殺する恐れがある

なお両人らは家出するときあまり金も持つていなかつた点と家出してから相当の日数がたつている点などからみて、附近の町村で自殺を遂げたのではないかと憂慮され健在両名を検挙した、郷町の松野紀元、好間村の高野

泉小校の暑中休暇行事

泉小校では二十一日から一週間夏休み中の児童の生活指導として縁陰子供会を催す事になり、十六方部に分け毎日午前八時から九時までは学習、九時から十時まで子供会、リクリエション、清掃などの行事を行う

簿記講習会
平商校で開催

平商高校主催、商工会議所、産業教育振興会支部後援の簿記講習会は左記要領で開らかれる、▽日時八月七日から十四日迄毎日午後六時半から九時まで▽会場、平商校▽講師、平商校教員▽募集人員、初級及び上級とも各五十名▽受講料、百五十円希望者は八月五日まで申込みのこと

白河が優勝
五市親善野球

県下五市親善野球大会は十七、八の両日平市平工グラウンドに、福島、若松、白河、郡山、平各市役所チームが参加して開催、二日間に亘つて熱球を飛ばした結果新鋭白河チームが四戦四勝という好成績で優勝した

地元平市チームは市長、市会議長初め押しかけ黄色い声の応援にもさつぱり振わず惜しくも四位

各チームの戦跡次の通り

▽白河四戦四勝
▽郡山四戦一勝、若松四戦二勝
▽平四戦一勝
▽福島四戦四敗

人事消息

平税務署間税課阿部博氏は今般若松税務署間税課酒税係長に栄転、廿三日朝の列車で出発する

出生死亡

（廿一日届出）

出生―平市月見町十六高田治長男育治、平市杉平二十廻久一美長男一則平市道匠小路三十五馬上遊長女敦子

死亡―平市十五丁目二十四斎藤伊蔵(七五)平市十五丁目十三斎藤三郎(四ノ)

神谷婦人会で
九州見舞品

平市神谷婦人会会長荒井シンさんほか六名は二十一日午前十一時ころ平福祉事務所に衣類二千点が集りましたから水害地の九州と和歌山県に贈つて下さいと婦人会の協力で集つた二千点を届けた

小名浜にチブス

小名浜町字船引場一六漁夫鈴田甲子男さん(三)は二十一日腸チブスと判り隔離した

丑の日に 牛肉の 御用命は
電話 323
三二三屋
平市田町並木通り

生ビールは 夏 冷蔵庫

うな丼 蒲焼
出前迅速
たいら食堂
平市二丁目 公会堂通り

暑中御見舞申し上げます
廿五日の 土用丑の日には
栄養豊富
神戸霜降牛肉を
ハム類メーカ品 市価一割引販売
綠屋
本店 電五三九番
支店 電七九四番

監督 マキノ雅弘
丹下左膳
原作も、脚本も、配役も日本一！時代劇の興趣をこの一篇に集めた林不忘の傑作、「丹下左膳一待望の映画化！
大河内伝次郎
水戸光子
山本富士子
沢村昌子
同時上映
娘初恋ヤットン節
久保幸江 金語楼
若尾文子 長谷部健
22日より
セ天地

アクションとロマンスれい明期の大西部史
カーク・タクラス
デューイ・コーチン
エリザベス・スレット

金語楼 浅茅しのぶ 坂東好太郎
エンタツ 久保幸江 ミスワカサ
22日より ひかり座